



2026年度 第58回 臨床試験セミナー統計手法コース

予習・事前準備事項について

- 事前課題と、予習によってさらに講義の理解が深まる参考図書や予習事項を講師からの推奨事項として下記します。

1. 参考図書

- ① 入門 統計解析法 (著者: 永田靖)
- ② 医学・薬学・健康の統計学 (著者: 吉村功、寒水孝司、大森崇)
- ③ 臨床試験方法論: エビデンス創出のための試験デザインと統計解析
(著者: 平川晃弘／メディカル・サイエンス・インターナショナル)

2. お勧めする予習事項

講義: 「統計学の基礎」

大学の教養課程において、統計学の講義を受講した経験があることが望ましいです。

具体的には、以下の事項について、正確ではないにしても講義を受けたことがあることが望ましいです。

時間に余裕があるなら、受講前に統計検定3級のWebサイト

<https://www.toukei-kentei.jp/grade/grade3/>

を参照して、問題を解いたり内容を思い出したりしておいてください。

- ・標本調査(母集団、標本、全数調査、無作為抽出、標本の大きさ)
- ・データの位置の指標(平均、中央値、最頻値)
- ・データの散らばりの指標(標準偏差、分散)
- ・データの散らばりのグラフ表現(箱ひげ図)
- ・2変数の相関(相関、散布図(相関図)、相関係数)
- ・確率(独立な試行、条件付き確率)
- ・第一種の過誤、第二種の過誤、有意水準、p値)
- ・基本的な検定(t検定、カイ2乗検定)

3. 日本科学技術連盟セミナー

- はじめて学ぶ臨床試験のための生物統計学入門(e-ラーニング)
- 臨床試験セミナー統計手法入門コース(2日間)

関連セミナー一覧

[2026年度 医薬・医療統計関連 教育/セミナーガイド](#)